

第 77 回広島病理集談会

日 時：令和 6 月 8 月 3 日（土）午後 1 時 30 分より

会 場：広島大学 医学部 第 4 講義室

世話人：広島大学大学院医系科学研究科
病理学研究室 武島 幸男

副世話人：広島大学病院
病理診断科 有廣 光司

実施要領

1. 会場について

広島大学 医学部 第4講義室(次頁をご覧ください)

2. 演説について

一般演題は発表8分、討論7分とします。

* 演者の先生は、13時15分までに受付をお済ませ下さい。

* 液晶プロジェクター1台を準備します。

USBメモリーまたはSDカードに、PowerPoint形式でファイルを保存して、
受付までご持参ください。CD-ROMは使用できません。

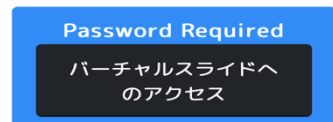
Windows OS, Mac OS, いずれも対応可ですが、Mac OSで作成したファイルは、
事前にWindows OS上での動作確認をお願いいたします。

3. バーチャルスライドについて

今回は標本を配布せずバーチャルスライドのみです。下記のサイトより閲覧してください。

Site : <http://pathology.hiroshima-u.ac.jp/shudankai.html>

Username: *pathology* Password: *Shudanka1*



4. スライドカンファレンスの診断投票について

診断投票用紙に診断をご記入の上、7月31日(水)までに下記宛先までE-mailまたはFAXにてご提出下さい。(上記サイトで診断投票用紙をダウンロードできます)

宛先: 広島大学大学院医系科学研究科 病理学
アマティア V.J.
FAX: 082-257-5154
E-mail: amatya@hiroshima-u.ac.jp

5. 集談会の参加費は500円です。

6. 提出抄録について:

200字以内の抄録を当日、会場受付にご提出下さい。

後日、E-mailにてお送り下さっても結構です。(8月7日必着)

(この抄録は、“広島医学”に掲載される予定です。)

7. 服装について

猛暑が予想されるため、ノーネクタイ・ノージャケットなどの軽装でお越してください。

8. 新型コロナウイルス感染対策について

下記の通り対策を講じての開催をいたします。

【空間確保と感染予防】

① 会場では席の間引きを行ないます。

② 運営スタッフはマスクを常時着用します。

③ 運営スタッフの健康チェックをします。

(出勤前の行動確認, 検温確認, 体調確認→体調不良時の出勤停止)

④ 参加受付, 会場内に消毒液を設置します。

⑤ マイク, 機材等の消毒作業を行います。

【会場での対策とお願い】

① 常時マスクの着用をお願いいたします。

② 以下の場合には参加を控えるようお願いいたします。

- ・ 37.5 度以上の発熱がある時
- ・ 咳・咽頭痛・息苦しさ等の症状が認められる時
- ・ その他, 体調が優れない時

(味覚・嗅覚異常を感じる時や疲労倦怠感を強く感じる時などを含む)

参加者の皆様におかれましてはご理解とご協力の程, 何卒よろしくお願い申し上げます。

交通アクセス

JR 広島駅から

広島駅(中央出口)

↓ 徒歩3分

広島駅南口(4番のりば)

↓ 路線バス

↓ 広電バス, 広島バス, 広交バス

↓ [\(302・312・322・332・342号線\)](#)

↓ 約15分・220円

「大学病院前」下車

JR 横川駅から

横川駅(南口)

↓ 徒歩3分

バス乗り場

↓ 路線バス

↓ 広島バス([23・23-1号線](#))

↓ 大学病院行き(紙屋町・八丁堀経由)

↓ 約40分・220円

「大学病院前(終点)」下車

【駐車場の利用について】

駐車補助券を交付いたしますので、受付で駐車券をご提示ください。

【広島大学霞キャンパス・大学病院マップ】



プログラム

総会

(13:30-13:40)

スライドカンファレンス

座長： 櫛谷 桂 先生

(広島大学大学院医系科学研究科 病理学)

(13:40-14:10)

- | | | | |
|------|---------|------------------------------|----------|
| S861 | 右頬部皮膚病変 | 県立広島病院
臨床研究検査科・病理診断科 | 森 馨一 ほか |
| S862 | 左肺腫瘍 | 広島市立北部医療センター
安佐市民病院 病理診断科 | 神原 貴大 ほか |

座長：服部 拓也 先生

(独立行政法人国立病院機構 東広島医療センター 病理診断科)

(14:10-14:40)

- | | | | |
|------|-------|-----------------------|----------|
| S863 | 左卵巣腫瘍 | 広島大学大学院医系科学研究科
病理学 | 青江 耕平 ほか |
| S864 | 前立腺腫瘍 | 広島市立広島市民病院 病理診断科 | 簗下 広樹 ほか |

【スライドカンファレンス】

S861 右頬部皮膚病変 (バーチャルスライドのみ)

県立広島病院 臨床研究検査科・病理診断科

森 馨一, 服部 結, 西阪 隆

症例は 80 歳代, 女性。

約 4 年前に右頬部皮膚病変に対して切除生検を施行され, 光線角化症と診断された。経過観察となっていたが, 約 9 ヶ月前頃に再発し, イミキモドクリームを処方されたが改善せず, 約 3 ヶ月前頃から疼痛が出現したため, 当院皮膚科紹介となった。右頬部に 20 mm 大の隆起性皮膚腫瘍を認め, 切除術が施行された。供覧する標本は, 手術時に採取された腫瘍組織である。

S862 左肺腫瘍 (バーチャルスライドのみ)

広島市立北部医療センター安佐市民病院 病理診断科¹, 呼吸器外科²

神原貴大¹, 木村修士¹, 松浦博夫¹, 花木英明², 甲斐佑一郎², 金子真弓¹

症例は 70 歳代, 男性。

血痰を主訴に近医を受診し, 約 10 年前の弓部大動脈解離に対する術後の再出血および左肺の肺炎の疑いで当院に救急搬送された。大動脈術後の仮性瘤からの出血に対して手術を受けたが, 縦隔出血が持続し, また, 左肺は穿破しており, 出血源の特定困難な左肺からの出血が持続した。出血コントロールのため, 左肺上葉が切除された。標本は左肺上葉病変の代表的な断面です。

S863 左卵巣腫瘍 (バーチャルスライドのみ)

広島大学大学院医系科学研究科 病理学

青江耕平, 櫛谷 桂, 武島幸男

症例は 70 歳代, 女性。

約 2 ヶ月前に頻尿のため前医を受診し、触診にて弾性硬の腫瘍が指摘された。造影 MRI にて骨盤内に T1 強調像で筋とほぼ等信号、T2 強調像で淡く低信号を呈し、内部変性を伴う約 16 cm の腫瘍が認められた。悪性の可能性もあり、当院に紹介受診した。当院の造影 CT では、左卵巣静脈の拡張が目立ち、左卵巣由来の可能性が考えられた。また、別病変として子宮近傍に筋腫と思われる石灰化結節を伴っていた。骨盤内腫瘍の術前診断で両側付属器摘出術、子宮全摘術、大網切除術が行われ、術後診断は左卵巣腫瘍であった。供覧する標本は、左卵巣腫瘍組織である。

S864 前立腺腫瘍 (バーチャルスライドのみ)

広島市立広島市民病院 病理診断科

籾下広樹, 本間りりの, 谷口恒平, 山崎理恵, 市村浩一

症例は 50 代, 男性。

男性更年期障害で通院中の前医血液検査で PSA9.17 ng/ml と上昇を認めた。MRI 検査で前立腺癌が疑われたため当院を紹介受診した。前立腺生検で Gleason score 5 + 5 の腺癌と診断された。PET-CT 検査で遠隔転移はみられず、前立腺全摘除術が施行された。提出した手術材料標本は、生検材料と同様の形態像を示す代表的なものです。